

Travel & Support

Action

旅のサポートは
「安全」かつ「安心」が基本



(上) 車イスで、お伊勢参り。
(下) 首里城の階段もゆっくりと。



日本全国のネットワークを使って
—— 着地サポート利用のメリットは!?



メリット-1

サポートする人の交通費、
宿泊費などが不要。
(サポートに関する経費が軽減)



メリット-2

地元に詳しい人の案内により、
旅を「安全・安心」に楽しめる。



目的地に着いても安心のサポート。

高齢になっても
障がいがあっても
「旅」をあきらめないで!

—— 久保田 牧子さん

取材・レポート：『めづるくらし』研究会 編集部



海水浴も楽しめます。

高齢になったら……、障がいがあったら……。

またはそういう方々のお世話をしなければなら
ない……。だから、旅には出られない、と思っ
ていませんか。

高齢社会と言われるようになって以来、国内
外を問わず、宿泊施設や交通機関、サービス提
供者などの、高齢者や障がい者に対する理解が
高まりサービス体制も整いつつあります。が、
まだまだ十分とはいえません。

12年前、私たちは障がいを有する方々や高齢
の方々に、障がいがあっても高齢になっても
「旅」をあきらめないでほしいと、サポート活
動を少しずつですが始めました。目標は広く一
般の方々に、高齢者や障がい者の旅や外出に対
する情報や、高齢者並びに障がい者の外出の機
会を積極的に支援するための人的サポートを含
め、誰もが外出や旅を楽しめるような情報を提
供することです。また、サポートする人々を育
成し、より多くの人たちが外出できるような体
制を作ることです。

さらに、コミュニティや社会が、障がいのあ
る方々をはじめとする、すべての助けを必要と
する人々やグループを包括的に見ていくようにす
るWHOの考え方(*CBIID)にのっとって、こ
の活動を広げて行きたいと考えています。

活動内容は、先に述べたようにユニバーサル
ツーリズムの情報提供(旅行中に使用する車い
すやベッドなどのご相談から、ツアーのご紹介
などを含む)。高齢者や障がい者の旅のヘルプ
&サポート。旅のヘルプ&サポートをする人た
ちの育成です。

旅(外出を含む)に関わることなら何でも、ま
ずはご相談ください。

*CBIID (Community-based Inclusive
Development) : 地域に根ざしたインク
ルシブ(誰も排除されない社会) 開発

久保田 牧子：NPO 高齢者・障がい者の旅をサ
ポートする会 & NPO 東京ユニバーサルツーリ
ズムセンター・理事長



食事介助も、重要なサポー
ト。

〈東京UTC〉は、2020年の東京オ
リンピック・パラリンピック開催を契機
に、高齢者や障がいを持つ人、子ども連れ
など、安心して旅を楽しんでもらうための
ネットワークの構築や情報発信をするこ
とを目的として、2015年に設立。
東京を訪れた支援を必要とする人た
ちが、旅や滞在を楽しめる環境を創り出す
「ユニバーサルツーリズム」のネットワー
クの拠点となります。

都内の交通機関や宿泊など、様々な施設
を利用する上での情報などを発信したり、
実際の人的サポート(移動・食事・入浴・ト
イレなど)では、専門の支援サポーター(旅
サポーター)のW紹介も行っています。

〈東京UTC〉は、東京を誰にでもやさ
しい観光都市として発展させていくこと
を目指して活動しています。

1945年東京生まれ。玉川大学を卒業後、婦人誌「婦
人生活」、在宅介護誌「やさしい手」「かいごの学校」
の編集を経て、高齢者や障害者がいきいき暮らす
ための「旅」をテーマに、「NPO 高齢者・障が
い者の旅をサポートする会」を2007年に設立。
2015年「NPO 東京ユニバーサルツーリズムセン
ター(東京UTC)」を設立、理事長を兼務。2020
年の東京オリンピック・パラリンピックに向かっ
て、「NPO 日本ユニバーサルツーリズム推進ネッ
トワーク」とともに連動し、より専門的な情報サ
ポート、旅のプロデュースを行っている。

HP : <http://www.tabisupport.org>